

や

まさき

毎年コスモスが咲く頃を楽しみに!

～ 神野地区ひとり暮らしのつどい ～



自分の体験談やカラオケを披露したり一年ぶりに出会う人も多く“おしゃべりタイム”は自然とにぎやかに



穴栗警察署交通課「穴栗に安全を広め隊」による腹話術や手品にみなさん大笑い「振り込め詐欺に気をつけて!」

神野地区では、70歳以上のひとり暮らしの方に呼びかけ、毎年コスモスが咲く頃にひとり暮らしのつどい『秋桜（コスモス）のつどい』を開催しています。

このつどいは、地区福祉連絡会の民生児童委員が中心となり、自治会や老人クラブが協力しています。

今年は、10月28日（日）五十波交流館で開催され、19名が参

加されました。

参加者からは、「最近はお達者クラブにも行けんようになった。みんなに会えてうれしい」「弁当もみんなと食べるで、よけいに美味しいわ」など、再会を喜ぶ声が多く聞けました。

「みなさんが楽しかったで、ありがとう。また頼むで」と、笑顔で言ってもらえたのがうれしかったです」とスタッフのみなさん。

山崎では、8つの地区に分かれ地域にあったひとり暮らしのつどいが開催されています。

これからも、地区ごとに工夫を凝らした手作りのつどいが開催され、お互いに元気を与えあう場になるよう願っています。（山崎支部 森井裕矢）

い

ちのみや

悩みを話し合える『仲間』

「そよかぜ」の同窓会

一宮在宅介護者の会「そよかぜ」は、介護をするもの同士が悩みや不安を本気で語り合える会として毎月1回活動しています。

今回そよかぜの同窓会を行おうと、介護を終えられた方や最近お見えになられていない方に会員同士で連絡を取りあい、10月4日（木）はりま自立の家ローズカフェで19名が集まり交流しました。

参加者からは、「久しぶりにみんなの顔を見ると介護で大変だった時のことを思い出して。そよかぜには本当に感謝しています」「介護は大変だけど…今介護されている方には無理はせず、でも後悔もしないようにしてほしいです」と涙ながらに話されるなど、みなさんの思いが聞ける交流となりました。

時間は経っても、同じ境遇だから、同じ悩みを持



つもの同士だからわかりあえることがあります。

そよかぜでは介護で悩まれている方や一人で介護を頑張っておられる方が気軽に参加できる場をこれからも提供していきます。（本部・一宮支部 田中祥仁）

次回開催のお知らせ

12月13日(木) 13:30～15:30
会場：一宮保健福祉センター
内容：茶話会